



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 ヒラキ株式会社

コード番号 3059 URL <http://company.hiraki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 向畑 達也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略室長 (氏名) 今本 清治

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

TEL 078-967-4601

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	11,024	△3.5	408	81.1	285	240.3	156	282.7
23年3月期第2四半期	11,422	△6.4	225	△38.8	83	△69.2	40	△46.2

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 72百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △271百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	32.51	32.16
23年3月期第2四半期	8.44	8.35

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第2四半期	16,818		4,203		25.0
23年3月期	17,500		4,191		24.0

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 4,203百万円 23年3月期 4,191百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,700	1.3	800	27.8	620	51.4	400	83.2	83.33

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	5,061,600 株	23年3月期	5,061,600 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	261,500 株	23年3月期	237,100 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	4,818,167 株	23年3月期2Q	4,847,867 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年9月30日)におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により徐々に回復の兆しが見え始めているものの、継続する円高や株価低迷により企業収益への影響が懸念され、厳しい雇用環境も加わり、景況感は依然として先行き不透明な状態にあります。

このような環境の下、当社グループは、商売の基本である「集客し、売上高を取り、利益を稼ぐ」商売を徹底的に考え、工夫し、実践するため「開発商品」の商品力強化および「特価商品」の仕入強化に注力した事業展開を進めてまいりました。

「開発商品」におきましては、消費者の低価格志向・目的買いが強まっているため、生活応援アイテムとして「絶対的安さ」を訴求し、低価格帯の実用商品を充実させることに注力いたしました。具体的には、ファッション性にこだわった『714円レディースレインブーツ』、『299円ファミリータウンサンダル』を継続販売するとともに、盛夏に向けてはUV対策グッズ、暑さ対策グッズ等、時節のニーズにあった商品をタイミング良く提供することにより、お買上単価が上昇し、売上高の獲得に貢献いたしました。また、初秋からは、前シーズンに60万足以上のヒット商品となった『もこもこボアブーツ』に加え、柔らか素材を手縫いし、屈曲性のよいソールを利用したモカ仕上げ『399円カジュアルシューズ・8色モカシン』を受注けん引のための販促品として新規投入いたしました。

「特価商品」の仕入強化につきましては、全社を挙げて取引先との協力関係を強化すべく、前連結会計年度に続き特価大商談会を推進いたしました。また、ディスカウント店舗全店に常設の超特価コーナーをより充実させることで集客効果のアップを図り、ディスカウント店舗の看板としての役割を果たせるよう取り組みを進めてまいりました。

さらに、ディスカウント店舗では、他店との競争に打ち勝つために、一層の差別化を図っていくことが急務であると判断し、『靴』のヒラキとして、強いところをより強くした店舗づくり、すなわち靴売場の改革を推進することとし、高額一流の人気ブランドから中級大衆向けブランド商品まで豊富な品揃えとボリュームで明らかな価格優位性をもった「靴の最強化」の取り組みを推進いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は、110億2千4百万円(前年同四半期比3.5%減。なお、前連結会計年度にて事業撤退を完了した専門店事業を除く事業での前年同四半期比では2.5%減)となりました。

利益面につきましては、通信販売事業における徹底したローコストオペレーションの実施、ディスカウント事業における特価商品・開発商品の販売強化による粗利益改善、卸販売事業のOEM商品を中心とした販売体制への移行および専門店事業の完全撤退による赤字削減により、利益を確保できる体制作りを進め、当第2四半期連結累計期間における営業利益は4億8百万円(前年同四半期比81.1%増)、経常利益は2億8千5百万円(前年同四半期比240.3%増)、四半期純利益は1億5千6百万円(前年同四半期比282.7%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、東日本大震災の影響により、消費者の生活用品に対する低価格志向がより鮮明になってきたことや、当社の低価格戦略および定番商品の再構築がよりマッチした結果、受注件数が増加いたしました。さらに節電対策に好適な『涼感素材を使用した快適インナー』、『吸湿速乾の快適敷きパッド』、『ひんやりクールスカーフ』等の暑さ対策グッズが、顧客ニーズにマッチし、もう一品の購買欲を促し、お買上単価が上昇したことにより売上高の獲得に貢献いたしました。また、円高傾向による海外仕入の安定化に加え、出荷業務効率の見直し等、ローコストオペレーションを引き続き実施したことにより利益面でも改善いたしました。

この結果、売上高は53億7千4百万円（前年同四半期比3.9%増）、セグメント利益（営業利益）は6億6千8百万円（前年同四半期比26.9%増）となりました。

② ディスカウント事業

ディスカウント事業におきましては、東日本大震災以降、消費マインドが委縮し消費者の目的買い、競合店との価格競争の激化等によりお買上単価が下落したことに加え、天候不順等の影響により来店客数が減少したこと等により売上高の獲得に苦戦いたしました。また、特価商品の仕入拡大による商品の充実、自社開発商品の販売強化、『靴』の幅広い品揃えや売場の改善に注力したことにより、強みを発揮できる商品においては粗利益が改善いたしましたが、日用雑貨・日用消耗品・食品等の一般商品の価格訴求力が低下し、集客面で十分な効果を上げるには至りませんでした。

この結果、売上高は53億7千5百万円（前年同四半期比5.7%減）、セグメント損失（営業損失）は2千7百万円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）3千6百万円）となりました。

③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、前連結会計年度より取引先を絞り込み、OEMを中心とした販売形態に移行することにより売上高は減少したものの、粗利益が確保できる体質となりました。また、大手取引先との商談・情報提供をスムーズに行うために、東京営業所に営業戦力を集中することで固定費を削減し、販売費及び一般管理費の圧縮を進めてまいりました。

この結果、売上高は2億7千4百万円（前年同四半期比37.1%減）、セグメント利益（営業利益）は2千4百万円（前年同四半期比107.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債および純資産の状況の分析）

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、5億3千5百万円減少し、82億9千万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が6千4百万円、商品が1億2百万円、繰延税金資産が8千1百万円増加し、現金及び預金が8億1千4百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ、1億4千6百万円減少し、85億2千8百万円となりました。これは、建物及び構築物が1億2千3百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ、6億8千1百万円減少し、168億1千8百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ、3億2千4百万円増加し、47億4千5百万円となりました。これは、未払法人税等が1億4百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ10億1千8百万円減少し、78億6千9百万円となりました。これは、長期借入金が8億7千7百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、6億9千3百万円減少し、126億1千4百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、1千2百万円増加し、42億3百万円となりました。これは、利益剰余金が1億8百万円増加し、繰延ヘッジ損益が8千4百万円減少したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.0ポイント増加し25.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、「営業活動によるキャッシュ・フロー」で得られた資金を、「投資活動によるキャッシュ・フロー」および「財務活動によるキャッシュ・フロー」で使用した結果、前連結会計年度末に比べ8億1千5百万円減少し、15億3千6百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2億3千万円(前年同四半期は3億3千3百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2億8千5百万円の計上、減価償却費1億7千9百万円の計上、たな卸資産の増加1億3千万円、売上債権の増加6千4百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2千万円(前年同四半期は1千1百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1千9百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、9億7千1百万円(前年同四半期は6億7千2百万円の使用)となりました。これは主に、長期借入金の返済9億9千2百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の業績予想に関しましては、平成23年11月7日に開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,352,730	1,537,972
受取手形及び売掛金	945,305	—
売掛金	—	1,009,895
商品	4,939,447	5,042,077
未着商品	168,314	208,429
貯蔵品	31,503	19,166
繰延税金資産	299,282	380,558
その他	106,978	114,275
貸倒引当金	△18,372	△22,215
流動資産合計	8,825,190	8,290,160
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,467,992	4,344,352
土地	3,787,623	3,787,623
その他（純額）	216,156	204,709
有形固定資産合計	8,471,772	8,336,684
無形固定資産	81,405	70,277
投資その他の資産	121,866	121,250
固定資産合計	8,675,043	8,528,212
資産合計	17,500,234	16,818,373

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,127,909	1,103,229
1年内返済予定の長期借入金	1,983,801	1,968,134
未払法人税等	58,542	163,259
賞与引当金	157,156	161,806
役員賞与引当金	—	4,626
ポイント引当金	32,348	33,093
その他	1,060,982	1,311,228
流動負債合計	4,420,741	4,745,377
固定負債		
長期借入金	8,414,579	7,537,356
退職給付引当金	62,380	68,462
環境対策引当金	15,779	15,779
資産除去債務	28,781	29,042
その他	366,083	218,446
固定負債合計	8,887,605	7,869,086
負債合計	13,308,346	12,614,464
純資産の部		
株主資本		
資本金	437,480	437,480
資本剰余金	1,136,112	1,136,112
利益剰余金	2,967,361	3,075,752
自己株式	△124,309	△136,747
株主資本合計	4,416,644	4,512,597
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	783	661
繰延ヘッジ損益	△223,849	△308,437
為替換算調整勘定	△1,690	△913
その他の包括利益累計額合計	△224,756	△308,689
純資産合計	4,191,887	4,203,908
負債純資産合計	17,500,234	16,818,373

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	11,422,571	11,024,434
売上原価	7,089,437	6,722,465
売上総利益	4,333,133	4,301,969
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	1,253,853	1,162,053
貸倒引当金繰入額	11,673	14,735
ポイント引当金繰入額	25,677	22,512
給料手当及び賞与	1,061,661	1,050,605
賞与引当金繰入額	156,008	161,806
その他	1,598,837	1,482,123
販売費及び一般管理費合計	4,107,712	3,893,836
営業利益	225,421	408,132
営業外収益		
受取利息	1,407	1,261
受取配当金	605	817
補助金収入	11,434	8,114
その他	19,467	15,443
営業外収益合計	32,913	25,636
営業外費用		
支払利息	79,824	75,171
為替差損	87,997	69,894
その他	6,704	3,463
営業外費用合計	174,526	148,528
経常利益	83,809	285,240
特別利益		
賞与引当金戻入額	4,682	—
特別利益合計	4,682	—
特別損失		
固定資産売却損	113	—
固定資産除却損	711	133
店舗閉鎖損失	833	—
環境対策引当金繰入額	15,928	—
その他	706	—
特別損失合計	18,293	133
税金等調整前四半期純利益	70,197	285,107
法人税、住民税及び事業税	6,160	159,437
法人税等調整額	23,105	△30,966
法人税等合計	29,266	128,471
少数株主損益調整前四半期純利益	40,931	156,636
四半期純利益	40,931	156,636

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	40,931	156,636
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△621	△121
繰延ヘッジ損益	△309,987	△84,587
為替換算調整勘定	△2,130	776
その他の包括利益合計	△312,739	△83,932
四半期包括利益	△271,807	72,703
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△271,807	72,703
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	70,197	285,107
減価償却費	216,899	179,051
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,268	3,712
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,334	4,649
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,625	4,626
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	383	744
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△23,761	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,796	6,081
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	15,928	—
受取利息及び受取配当金	△2,012	△2,078
支払利息	79,824	75,171
為替差損益 (△は益)	5,361	54,278
有形固定資産売却損益 (△は益)	113	—
店舗閉鎖損失	833	—
売上債権の増減額 (△は増加)	300,385	△64,531
たな卸資産の増減額 (△は増加)	47,233	△130,407
仕入債務の増減額 (△は減少)	8,594	△25,103
その他	△193,443	△33,624
小計	537,026	357,677
利息及び配当金の受取額	2,080	2,143
利息の支払額	△79,150	△73,857
法人税等の支払額	△126,790	△55,030
営業活動によるキャッシュ・フロー	333,166	230,932
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△600	△600
定期預金の払戻による収入	3,600	—
有形固定資産の取得による支出	△49,836	△19,022
有形固定資産の売却による収入	28	—
無形固定資産の取得による支出	△315	—
投資有価証券の取得による支出	△5,774	△1,503
その他	41,699	244
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,198	△20,881
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	300,000	—
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△878,725	△992,890
自己株式の取得による支出	△3,387	△12,438
配当金の支払額	△72,838	△48,386
その他	△17,100	△17,950
財務活動によるキャッシュ・フロー	△672,052	△971,665
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,652	△53,743
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△356,736	△815,358
現金及び現金同等物の期首残高	1,770,134	2,352,030
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,413,397	1,536,672

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I. 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	通信販売事業	総合店事業	卸販売事業	専門店事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,171,189	5,701,695	436,057	113,628	11,422,571	—	11,422,571
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,171,189	5,701,695	436,057	113,628	11,422,571	—	11,422,571
セグメント利益又は損失 (△)	526,706	△36,293	11,660	△26,896	475,177	△249,755	225,421

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△249,755千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	通信販売事業	ディスカウント 事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,374,920	5,375,346	274,168	11,024,434	—	11,024,434
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,374,920	5,375,346	274,168	11,024,434	—	11,024,434
セグメント利益又は損失 (△)	668,268	△27,679	24,189	664,779	△256,646	408,132

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△256,646千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 平成22年10月1日付の組織変更により従来の「総合店事業」を「ディスカウント事業」へ名称変更いたしました。また、「専門店事業」につきましては、平成22年10月31日で全店舗を閉店し、事業撤退をしております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。